

神代の邦『伊平屋島』DVD制作趣意書

謹啓 初秋の候、皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度、神代の邦『伊平屋島』のDVDを制作する運びとなりました。伊平屋村第十一代村長新垣清正氏は、「伊平屋村の過去を記録に残し、先祖が築いてきた歴史的遺産を後世に伝える」ということは、村民が移り変わる今後に対応する際、自ら歴史創造の主体として認識し自覚することを促すものだと思じて居るものであります」と昭和五十六年十二月二十五日発行の『伊平屋村史』に「発刊のことば」として述べられています。

伊平屋村の村の出来事や風俗習慣並びに、時代時代によっての事項を詳細に記載して子々孫々に伝え継ぐ責務があると確信し、村史の再刊を新垣平八翁、新垣安助氏、城間喜平氏、編纂者の諸見清吉氏の四氏に編集委員として託されまして、村内の情勢はもとより琉球の歴史やわが国の背景等も記述なされ五百三十八ページの豊富な資料の『伊平屋村史』が発刊されております。

伊平屋村は『天の岩戸伝説の最南端の地』であり『神武天皇ご生誕の地』として、本土の出版社や作家たちが伊平屋詣でをしている現状であります。

平成の時代を迎えた今日、伊平屋村・伊是名村の先輩諸氏のご賛同を頂きまして神代の邦『伊平屋島』のDVDを制作し、神話や歴史的遺産を後世に継承していかれることを期待するものであります。

つきましては、本企画にご理解とご支援を頂き、協賛者として御芳名を賜りますよう、衷心よりお願い申し上げます。

謹白

平成二十八年九月吉日

神代の邦『伊平屋島』DVD制作実行委員会

会長 西 江 茂 (我喜屋)
副会長 山 内 進 (我喜屋)
副会長 西 銘 敏 安 (野 甫)
副会長 新 垣 勝 史 (田 名)
実行委員長 平安山 美智子 (我喜屋)
〒901・0156

沖縄県那覇市田原3・7・2

小緑リースビル404

TEL 098・988・6081
FAX 098・988・6082

各位

支援金のお願

記

タイトル 神代の邦『伊平屋島』^{しま}

趣 旨 伊平屋村第十一代村長・新垣清正氏が発行した『伊平屋村史』発刊趣旨を尊重し、ご先祖様が築かれた歴史的遺産を後世に継承することとを趣意とする。

主な内容 伊平屋の起源・伊平屋と伊是名の分村・名所旧跡・人物伝・神話・伝説・伝統芸能その他

制作発表 平成二十八年十二月二十三日予定

支援金 二千円以上（壱万円以上の支援者はDVDに御芳名を掲載します）

支援期間 平成二十八年九月一日より

平成二十九年三月三十一日まで

【銀行名義】ゆうちょ銀行【店名】七〇八【店番】708

【預金種目】普通預金【記号】17040【口座番号】15144871

【口座名義】神代の邦『伊平屋島』DVD制作実行委員会

神代の邦『伊平屋島』^{しま}DVD制作実行委員会

役員名簿（敬称略・順不同）

会長	西江	茂（我喜屋）	顧問	仲田	清祐（伊是名）
副会長	山内	進（我喜屋）	顧問	西田	健次郎（伊是名）
副会長	西銘	敏安（野甫）	顧問	西	昇（伊是名）
副会長	新垣	勝史（田名）	顧問	仲田	輝享（伊是名）
実行委員長	平安山	美智子（我喜屋）	顧問	山内	靖昭（伊是名）
顧問	名嘉	謙（島尻）	顧問	中川	貞允（伊是名）
顧問	宮城	富夫（島尻）			

本来ならば、まだまだ多くの先輩諸氏の皆様をご訪問致しまして、本会の設立趣旨説明をいたし、本会の役員にご就任頂く予定でありましたが、皆様ご周知の通り、県議会選挙、参議院選挙と相次ぎ、その機会を逸しました。

皆様の御芳名を役員として連名することが出来かねず、誠に申し訳ございません。衷心より深くお詫び申し上げます。

どうぞ、本会の趣意をご理解頂きまして、神代の邦『伊平屋島』DVD制作にご指導、ご鞭撻を賜りますよう伏してお願い申し上げます。